

多元文化論系「科目登録ガイダンス」資料（新3年生以上用）

1. 登録全般について

- ・「2013 年度科目登録の手引き」を熟読し、登録手続きを行ってください。

2. 演習および講義の履修について

- ・半期に登録できる専門演習には上限があります。各自充分確認の上、登録してください。
- ・ゼミによっては、学年別にゼミをA・Bに分けて行う場合があります。シラバスを充分確認の上、登録して、担当教員の指示に従ってください。
- ・「日本史・世界史再発見」というオムニバス授業（多元文化論系の複数の教員によるリレー式）は、さまざまな視点から歴史と文化を捉え直す授業内容となっています。ゼミ選択に迷っている学生にとっても、多元文化論系の教員に幅広く触れる機会となりますので、履修をお薦めします。

3. 5つのプログラムについて

別紙「プログラム紹介」を参照してください。

4. 卒業研究について

【新3年生へ】

- ・秋期に「卒業研究計画書」を提出することになります。扱うテーマを考慮しながら、履修科目を選択し、準備を進めておいてください。
- ・卒業研究指導教員の希望を出すことができます。他論系や文学部各コース所属専任教員の指導を希望する場合は、その先生の演習や講義を今の段階から積極的に受講し、あらかじめ人間関係を築いておくとういでしょう。ただし、ゼミ・卒研・卒論の指導人数には上限が定められているので、その点も確認が必要です。
- ・5月以降に、複写代補助として、コピーカードを論系室で配布します。

【新4年生以上へ】

- ・指導教員の指導に従って、計画的に研究を進めてください。卒業研究選択者は、論系との関わりが少なくなりがちなので、指導教員と定期的に連絡を取り合うほか、積極的に論系室を活用してください。
- ・5月以降に、複写代補助として、コピーカードを論系室で配布します。

5. 実験実習料について

半期ごとに実験実習料を、学費と同時に自動徴収しています。この費用は、論系室における学習支援（PC利用、学習用図書資料の拡充等）のほか、校外実習補助（例：美術館訪問・観劇等）、卒業研究選択者への複写代補助などのかたちで還元されます。

6. 留学予定の方へ

多元文化論系では留学者への支援を積極的に行っております。単位振替等がスムーズにできるよう、留学前に論系運営主任との面談を実施します。留学予定者は、必ず論系室の助手にその旨を伝えて留学前面談を受けて下さい。

7. 論系室について

論系室には学生用P C・プリンターのほか、辞書やデータベースなども整備されています。科目登録のほか、広く学習に関する質問を随時受け付けますので、気軽に来室して下さい。助手（高木小苗／梅宮悠／似鳥雄一）が交代で在室しています。必要に応じ、論系運営主任も相談に応じます。

開室時間（春期）：12:00-19:00（月～金）

場所：33号館（新高層棟）9階906室 【2月24日までは、33号館低層棟2階1267室】

電話：03-5286-2979

H P：http://www.waseda.jp/trns_cult/

メール：sdc.admin2007@gmail.com